

# バージョン12リリースノート

Flowmon Probe/Collector

注：Ver UP 時には再起動、及びファイルチェックが行われます。Ver UP ご検討の際にはご相談ください。

Ver.No	リリース日	追加機能
Ver12.03.04	2024/2/29	<b>重要な情報</b>
		エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 例：Flowmon v12リリースの場合、v12.03.x リリースからの構成エクスポートはv12.04リリースと互換性があります。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。
		スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.3 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。
		修正された不具合
		Flowmon v12.03.03で発生した、チャートデータファイルが時々破損し、チャートが欠落し、エラーログエントリの数が増える問題が修正されました。
		過去の傾向ウィジェットがグループ内のプロファイルに正しいチャートを反映するようになりました。
		過去の傾向ウィジェットはタイムゾーン設定を正しく反映するようになりました。
		アクティブデバイス機能は、Juniperデバイスからの長いネットワークフローを適切に処理できるようになりました。
		Rest APIを使用してユーザが作成されるとき、ユーザ言語が正しく設定されるようになりました。
		GUIから割り当てられたホスト名は、AWSマーケットプレイスからデプロイされたアプライアンスの再起動後も持続するようになりました。
		<b>新機能</b>
		ip/パッケージがバージョン 2.0.1 に更新され、脆弱性CVE-2023-42282 が修正されました。
		PostgreSQLがバージョン 12.18 に更新され、脆弱性CVE-2024-0985 が修正されました。
		Ver12.03.03
エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 例：Flowmon v12リリースの場合、v12.03.x リリースからの構成エクスポートはv12.04リリースと互換性があります。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。		
スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.3 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。		
修正された不具合		
アクティブデバイスのバックグラウンド処理において、一時的なデータベースロックのブロックが発生する問題が修正されました。		
互換性のないモジュールのバージョンはアップグレードの対象外のため、提供されません。		
フローを30秒プロファイルに保存する機能は、収集データのギャップを避けるために最適化されました。		
REST API ドキュメントページは、システムに多数のプロファイルが存在する場合でも機能します。		
ライブソースのステータスがソーステーブルに正しく表示されるようになりました。		
分散アーキテクチャのマスターユニットからスレーブユニットへの長時間のフローデータエリがタイムアウトしないようになりました。		
分散アーキテクチャにおけるユニット間の構成変更分配のパフォーマンスが改善され、多数のフローソースがあるシステムで発生するディスク使用率の問題が修正されました。		
分散アーキテクチャのクォータ変更処理に時間がかかる場合でも、ソースグループ構成が破損しないようになりました。		
フロー数を無制限にした場合のフローエリの結果をCSVとして適切にエクスポートできるようになりました。		
分散アーキテクチャのマスターユニット上のフローソースSNMP設定の変更は、遅延やGUIパフォーマンスへの影響がない状態で適用されるようになりました。		
マスターユニット交換によるデータ損失は発生しないようになりました。		
トラフィックウィジェットの自動更新が正常に動作するようになりました。		
古い、存在しないパッケージの削除に失敗した際のエラーメッセージは、ログファイルに表示されなくなりました。		
<b>新機能</b>		
OS カーネルが 3.10.0-1160.108.1 に更新され、脆弱性CVE-2022-40982、CVE-2023-3611、CVE-2023-3776、CVE-2023-4128、CVE-2023-4206、CVE-2023-4208、CVE-2023-4207、CVE-2023-42753 が修正されました。		
java-1.8.0-openjdk パッケージがバージョン java-1.8.0-openjdk-1.8.0.402.b06-1.el7_9 に更新され、脆弱性CVE-2024-20952 および CVE-2024-20918 が修正されました。		
open-vm-tools パッケージがバージョン open-vm-tools-11.0.5-3.el7_9.9 に更新され、脆弱性CVE-2023-34058 および CVE-2023-34059 が修正されました。		
PyAML ライブラリがバージョン 6.0.1 に更新され、脆弱性CVE-2020-1747 と CVE-2020-14343 が修正されました。		
エクスポートされた設定ファイルの項目の順番が変更されないように修正されました。		
Ver 12.03.02	2023/11/22	<b>重要な情報</b>
		エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 例：Flowmon v12リリースの場合、v12.03.x リリースからの構成エクスポートはv12.04リリースと互換性があります。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。
		スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.3 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。
		修正された不具合
		多くのチャンネルを持つプロファイルがレポートで使用されている場合でも、レポートが正しく機能するようになりました。
		DAのフローソース設定更新が最適化され、DATポリシーに多数のフローソースがある場合にも、停止を引き起こさなくなりました。
		DATポリシーパッケージの更新プロセスで、マスターユニットのGUI上で小サイズパッケージのアップデートに時間がかかる問題が解決されました。
		ダッシュボードのウィジェットで時々起こる不具合が修正されました。
		解析でのフィルタリングは、スペース文字を含む属性に対しても正しく機能するようになりました。
		Flowmon Probeのエクスポートされたフローデータに、不正なQUICパケットに起因するギャップがなくなりました。
		<b>新機能</b>
		最新のEULAがインストール後に管理者ユーザに表示されるようになりました。
		アクティブデバイスが使用するMAC - ベンダマッピング情報が更新されました。データは IANA/IEEEから取得しました。
		解析で長時間実行されているクエリに、おおよその完了時間が表示されるようになりました。
製品使用状況のデータ収集が有効になっている場合、ページヘッダーのヘルプドロッダウンメニューはリソースセンターに置き換えられるようになりました。		

		<p>initiatorPackets(231) および responderPackets(232) IPFIX フィールド (Gigamon デバイスによってエクスポートされる) のサポートが追加されました。</p> <p>PostgreSQLがバージョン 12.17 に更新され、CVE-2023-5869 が修正されました。</p> <p>phpseclibパッケージがバージョン 2.0.45 に更新され、CVE-2021-30130 が修正されました。</p> <p>bind パッケージがバージョン 9.11.4-26.P2.el7_9.15 に更新され、CVE-2023-3341 が修正されました。</p> <p>OS カーネルが 3.10.0-1160.102.1 に更新され、CVE-2023-32233 および CVE-2023-35001 が修正されました。</p>
Ver 12.03.01	2023/10/24	<p><b>重要な情報</b></p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.3 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p><b>修正された不具合</b></p> <p>Flowmon 12.3.0で発生したGUIパフォーマンスの問題が修正されました。</p> <p>クォータは、履歴プロファイルが存在する機器の入力ボックスを使用して再度変更できるようになりました。</p> <p>レポートで使用する場合、昨日の時間範囲に正しい開始日が設定されるようになりました。</p> <p>Flowmon GUIは、小さいシステムバージョンを持つアプライアンスから再びアクセスできるようになりました。</p> <p><b>新機能</b></p> <p>NodeJSが16.20.2にアップデートされました。</p>
Ver 12.03.00	2023/10/3	<p><b>重要な情報</b></p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.3 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p><b>修正された不具合</b></p> <p>過去にリスニングポートの変更があった場合、リスニングポートに対する冗長なファイアウォールルールが作成されず、すぐに削除されない問題が修正されました。</p> <p>レポートのスケジュールを特定の区間（直近1週間）で保存することが可能になりました。</p> <p>LDAP認証は、カスタムグループDNで定義されたユーザーグループに対してうまく機能するようになりました。</p> <p>アップグレードパスの一部としてFlowmon 11.0.3リリースが使用された場合、アップグレード後にモニタリングポートが欠落する問題が修正されました。</p> <p>IPアドレスまたはFlowmonバージョンが定義されていない場合、バックアップは続行されない問題が修正されました。</p> <p>非アクティブ時のタイムアウト値が低く、ネットワークトラフィックが大きい場合、メモリ消費量が多くなるため、Flowmonプロセス上にエクスポートされたフローデータにギャップが生じないようにしました。</p> <p>アラートは、DAQコンフィギュレーションの一貫性チェックが10分間繰り返し失敗した場合にのみ、通知ベルに送信されるようになりました。</p> <p>ブラウザの起動後にタブを再度開くと、Chromeブラウザで解析ページが正しく開くようになりました。</p> <p>DAマスターユニットでnfdumpクエリがキャンセルされると、スレーブユニットでもキャンセルされる（リソースの消費が止まる）。</p> <p>UIが固まった場合でも、DAQユニットCLIにアクセスしてログをダウンロードすることが可能になりました。</p> <p>FCC UI から長時間実行中のクエリを終了しても、他のバックエンドタスクの実行には影響が出ないようにしました。</p> <p>デバッグタスクがりのためにXMLをインポートする場合、1分30秒のshadowソースプロファイルの開始時間が正しく出力されるようになりました。</p> <p>SNMPトラップは、重大度の高い警告メッセージに対して生成されるようになりました。</p> <p>APMモジュールのアンインストールが完了すると、APMファイアウォールルールがソースグループの設定ファイルから削除されるようになりました。</p> <p>解析ページでポート名を変更すると、ダッシュボードに反映されるようになりました。</p> <p>Flowmonは、フローソースとして使用されるSonicwallファイアウォールからのタイムスタンプを適切に処理できるようになりました。</p> <p>トップチャプターの計算がデータベース接続の上限に達しないようになりました。</p> <p>トップチャプター・マスターユニットを使用して、分散アーキテクチャ・ユニットのIPアドレスを変更することが可能になりました。</p> <p>トップチャプターのウィジェットで、フローのソースIPアドレスとインターフェイスインデックスを対にすることで、集約が修正されるようになりました。</p> <p>ユーザIDの解析作業が分散アーキテクチャで実行されるようになりました。</p> <p>30秒プロファイルがある場合でも、デバッグバックアップは失敗しないようになりました。</p> <p>ユーザ詳細変更ログエントリは、LDAPサーバーからユーザ詳細が更新された場合にのみ表示されるようになりました。</p> <p><b>新機能</b></p> <p>Flowmon Monitoring Centerの過去の傾向機能では、現在のネットワークトラフィックを過去の値と比較できるようになりました。</p> <p>Flowmon Configuration Centerのアクティブセッションタブには、すべてのアクティブユーザのリストが表示され、ログアウトできるようになりました。</p> <p>ダッシュボードとレポートに新しいナビゲーションバーが追加されました。</p> <p>Flowmonのドキュメントは<a href="https://docs.progress.com">https://docs.progress.com</a>で利用できるようになりました。</p> <p>subscription-manager パッケージが更新されました (CVE-2023-3899 を修正)。</p> <p>REST API を使用して、Flowmonアプライアンスにライセンスをインポートできるようになりました。</p> <p>PHPが8.1にアップデートされました。</p> <p><b>既知の不具合</b></p> <p>履歴プロファイルがある場合、入力ボックスを使用してクォータを変更することはできません（回避策としてスライダーを使用することができます）。</p>
Ver 12.02.06	2023/8/30	<p><b>重要な情報</b></p> <p><b>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</b></p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用するのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p><b>修正された不具合</b></p> <p>All Sourcesプロファイルより古いプロファイルを編集して保存できるようになりました。</p> <p>LDAP サーバーから CN 属性が返されなくても、LDAP 認証は正しく機能するようになりました。</p> <p>カスタムグループ DN に定義されたグループがある場合、LDAP 認証は正しく機能するようになりました。</p>

		<p>新機能</p> <p>OpenSSH パッケージが更新され、脆弱性CVE-2023-38408 が修正されました。</p> <p>HTTPS パッケージが更新され、脆弱性CVE-2023-25690 が修正されました。</p> <p>Python および Python3 パッケージが更新され、脆弱性CVE-2023-24329 が修正されました。</p>
Ver 12.02.05	2023/7/10	<p>重要な情報</p> <p><b>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</b></p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用しのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>存在しないソースを持つアラートをインポートしても、ソースが削除されることはなくなりました。</p> <p>仮想アプライアンスから監視インターフェースを削除しても、他の監視ポートが継続的に再起動することがなくなりました。</p> <p>アラートの文字変換が修正されました。</p> <p>災害復旧用に XML をインポートするときに、シャドウ ソース プロファイルの開始時刻が正しく表示されるようになりました。</p> <p>モニタリングポートが利用可能で、ユーザーインターフェース (UI) に適切に表示される。</p> <p>監視ポートがKVM仮想アプライアンス上で正しく機能するようになりました。</p> <p>分散アーキテクチャ (DA) でSyslogサーバーを使用しても、DA構成の不一致が発生しなくなりました。</p> <p>DA構成の不一致は、少なくとも2つのソースグループと、これらのプロファイルが割り当てられた新しいユーザーの役割が存在する場合に修正されるようになりました。</p> <p>トップダウンの選択された時間全体でデータを利用できない場合、表示される時間間隔が調整され、ウィジェットのフッターに通知が表示されるようになりました。</p> <p>外部サーバーへのプロファイルバックアップが正常に機能するようになりました。</p> <p>Flowmon Configuration Center (FCC)のLDAP UIが、多数のLDAPグループに対して正しく機能するようになりました。</p> <p>FlowmonはVDSのLDAPサーバーで正しく動作するようになりました。</p> <p>sFlowでのフロー収集がDAで適切に機能し、新しいフローソースが繰り返し追加されることがなくなりました。</p> <p>LDAP認証が有効な場合、プロキシユニットでDAコンフィギュレーションの不一致とシステムディスクがいっぱいになる問題を修正されました。</p>
Ver 12.02.04	2023/4/11	<p>重要な情報</p> <p><b>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</b></p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用しのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>DAユニット間のフローソースの構成の不一致は、DAのマイナー/メジャーバージョンからのアップデート後に報告されなくなりました。</p> <p>DA ユニット間の自律システム構成の不一致は報告されなくなりました。</p> <p>複数の分散アーキテクチャ (DA)のソース グループから生成され、1 つのソース グループに選択したプロファイルのデータがない場合、時系列が空になることはなくなりました。</p>
Ver 12.02.03	2023/3/27	<p>重要な情報</p> <p><b>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</b></p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用しのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>分散アーキテクチャ (DA) の構成が正しく更新され、更新後に DA ユニットが TPM ユニットに適切にデータを送信しています。</p> <p>サブテナントで作成されたプロファイルは、適切にデータを取得しない問題を修正しました。</p> <p>テナントが削除された後、プロファイルはデータの取得を停止してしまう問題を修正しました。</p>
Ver 12.02.02	2023/3/15	<p>重要な情報</p> <p><b>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</b></p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用しのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>CVE-2023-26100 - Flowmonバージョン12.2.2 以前 では、アプリケーション エンドポイントがユーザ提供の入力をサニタイズできませんでした。脅威者は、Flowmonユーザのウェブブラウザのコンテキスト内で任意のコードを実行するために、反射型XSS脆弱性を活用することができます。</p> <p>※CVE-2023-26100はFlowmonの特定脆弱性です。</p> <p>修正された不具合</p> <p>ソースグループの削除時に古いソースグループXMLがデータベースから削除されるため、この無効なXMLによって分散アーキテクチャ (DA) の整合性に問題が発生したことを修正しました。</p> <p>分散アーキテクチャ (DA) の構成が正しく更新され、更新後に DA ユニットが TPM ユニットにデータを正しく送信しています。</p> <p>新機能</p> <p>TACACS+設定で認証クエリのタイムアウトを設定できるようになりました。</p> <p>LDAP設定で認証クエリのタイムアウトを設定できるようになりました。</p> <p>Cisco デバイスの dot1qVlanId (243) および postDot1qVlanId (254) IPFIX フィールドがサポートされるようになりました。</p>
Ver 12.02.01	2023/2/8	<p>重要な情報</p> <p><b>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</b></p>

		<p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用しのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>ユーザが削除された場合にホームページが正しく読み込まれない問題を修正しました。</p> <p>GUI から互換性のないモジュールを開始またはアンインストールすることはできなくなりました。</p>
Ver 12.02.00	2023/1/31	<p><b>重要な情報</b></p> <p><b>アップデート中にアラビア語が再起動されます。</b></p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用しのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>CA証明書をインポートする際に、CA証明書の不一致に関する問題を修正しました。</p> <p>グラフの視覚化に関する問題を修正しました。</p> <p>アップグレード中にログインページにリダイレクトされることがある問題を修正しました。</p> <p>Zoomプリセットが更新されました。</p> <p>DNS統計情報の時系列表示に関する問題を修正しました。</p> <p>災害時のバックアップとリカバリを使用する場合、シャドウファイルの開始時刻が正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>災害バックアップリカバリ機能を使用する場合、リカバリ後にプロファイル チャネルが失われちゃう問題を修正しました。</p> <p>重複するサブネットがある場合に、サブネットによるフィルターは有効な結果を返さない問題を修正しました。</p> <p>チャンネルフィルターの最初と最後に括弧がある場合、時系列表示ができない問題を修正しました。</p> <p>CSVエクスポートで日単位で集約される場合、1 日全体のデータが正しく表示されるようになりました。</p> <p>ソース更新時にSNMPフィールドifAliasが提供されない場合、User Interface (UI) エラーが発生する問題を修正しました。</p> <p>ユーザガイドが修正されました。</p> <p>Configuration center &gt; モニタリング ポート章にフィルターの構文サンプルから改行が削除されました。</p> <p>TLS_RSA cipher suitesのサポートは、TLS 対応のリスン ポートから削除されました。</p> <p>一時的な設定ファイルは時間が経つと自動的に削除されるようになりました。こちらはディレクトリのサイズが無秩序に大きくなるを防ぐためです。</p> <p>一部の集約を行ったTOPチャプターのデータが利用できない問題を修正しました。</p> <p>送信元 MAC アドレスは、TLS および SMB トラフィックを表すフローに存在します。</p> <p>Active Devices 機能は DA プロキシ ユニットで実行されなくなったため、ログに関連するエラーはありません。</p> <p>「ディスクの再起動とチェック」関連するすべてのパーティション (ext3, ext4, および xfs) で動作します。</p> <p>All Sourceでチャンネルの色を変更できない問題を修正しました。</p> <p>Configuration center &gt; システム &gt; システム設定 &gt; 外部データストレージで、「書き込み権限のテスト」ボタンが有効にならない問題を修正しました。</p> <p>TCP/443 のリスン ポートを作成することはできちゃう問題を修正しました。</p> <p>ソースによって使用されるリスニング ポートが複数ある場合、フロー ソースの IP 変換は正しくなります。</p> <p>レポート内にIPプロトコルが正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>解析からエクスポートされたPDFで、列が切り捨てられてしまう問題を修正しました。</p> <p>HTTPヘッダーがCRLFで終了していない場合でも、Flowmon Probesによって適切に解析されるようになりました。</p> <p>誤ったユーザIDまたはロールIDによって発生するDAの設定不整合を修正しました。</p> <p>サブテナントでプロファイル ID が制限されている場合、DA 構成のハッシュの不一致は報告されないようになりました。</p> <p>エクスポートされた CSV ファイルに UTF-8 バイト オーダー マークが存在します。</p> <p>Flowmon Probe PROモデルでは、モニタリングポートのIP設定は有効化することができないようになりました。</p> <p>ユーザガイドが更新され、Flowmon はバスフリーズ保護付きのホスト証明書キーをサポートしていないことが記載されています。</p> <p>設定ファイル (XML) のインポートでパスワードを変更すると、ユーザは自動的にログアウトされます。</p> <p>セッション タイムアウトと REST API トークンの有効期間が GUI で設定できるようになりました。</p> <p>モニタリングポートがライセンスされていても、回線速度が不明な場合は、GUI上ではライセンスが付与されないと表示された問題を修正しました。</p> <p>チャートに定義済みのフィールドの色が固定されるようになりました。</p> <p>PostgreSQL 拡張を有効にした Probeのモニタリングポートが、バケット解析エラーが原因でクラッシュすることはなくなりました。</p> <p><b>新機能</b></p> <p>トポロジーのテーブル ウィジェットでは、カスタマイズ可能なテーブルでトポロジーを視覚化し、重要なトポロジー パラメータを全体的に把握することができます。</p> <p>User Interface (UI) の色とロゴが、Progress のブランドを反映するように更新されました。</p> <p>VMware、Hyper-V、KVM、QEMUの各ツールがFlowmon製品に統合されました。VAツールパッケージを手動でインストールする必要はありません。インストール済みの古い Flowmon VAパッケージは、アンインストールされます。</p> <p>Flowmon アプライアンスのリモート アクセス (SSH および HTTPS) は、FIPS 140-2 承認済みのセキュリティ アルゴリズム (暗号スイート) によって保護されています。これには、Flowmon の web-baseのインターフェースまたは CLI にアクセスするためのクライアント ソフトウェアの更新バージョンが必要になる場合があります。</p> <p>Flowmon Probesは、QUICプロトコル (HTTP/2およびHTTP/3のトランスポート層) を識別し、QUICトラフィックからSNIを取得することができるようになりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) のユーザおよび役割構成の分布が改善されました。</p> <p>誤ったユーザ または役割IDが原因で発生する不整合を防止しました。</p> <p>DAユニットごとに、インストール完了をステータスアイコンと通知メッセージで表示されるようになりました。</p> <p>DAトポロジーに割り当てられていないユニットがある場合、新しいパッケージのインストールが妨げられます。</p> <p>リモートユニットからダウンロードを開始し、後でログを取得することにより、ログを非同期的にダウンロードできるようになりました</p> <p>DA ユニットを選択してログのダウンロードができるようになりました。</p> <p>アップデート中にインストールの進行状況を表示するようになりました。</p> <p>アップデート (Flowmonパッケージまたはモジュールのインストール) 中に、不整合の可能性を防ぐために再起動またはシャットダウンすることができません。</p> <p>インタクティブなユーザをログアウトさせるためのセッションタイムアウトの設定を追加しました。</p>

		REST API アクセストークンおよび REST API リフレッシュトークンのタイムアウトの設定を追加しました。
Ver 12.01.01	2022/7/20	<p><b>重要な情報</b></p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>「高度な解析」の実行結果に表示されるTOSやASなどの項目を「名前の変更」ができない不具合を修正しました。</p> <p>NPMに関して、高度な解析にて「並べ替え基準：平均ジッター」を設定した際に、平均ジッターの降順に表示されない不具合を修正しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM Probeとの互換性はありません。これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe リリースで対処される予定です。</p>
Ver 12.01.00	2022/6/15	<p><b>重要な情報</b></p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>PDF形式にエクスポートされたレポートで時系列グラフの描画を失敗する問題が修正されました。</p> <p>Intel製ファームウェアを使用したNIC (X710) を搭載した Flowmon Probeがv12.00.xxにバージョンアップできない問題を修正しました。</p> <p><b>新機能</b></p> <p>将来提供予定の新しいハードウェア構成に対応しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM Probeとの互換性はありません。これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe リリースで対処される予定です。</p>
Ver 12.00.02	2022/5/10	<p><b>重要な情報</b></p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>プロファイルのグループを変更した場合、Flowmonダッシュボードに関連するトップチャプターが壊れてしまう問題を修正しました。</p> <p>ECDSA証明書サポートが追加されました。</p> <p>「高度な解析」の実行結果に表示される各項目を「名前の変更」で変更してもキャッシュがクリアされず、一定期間経過しないと変更したものが反映されない問題を修正しました。</p> <p>REST APIガイドのプロファイル作成方法のサンプルが修正されました。</p> <p>Flow Quality Analyzerは、フローエクスポーターを再起動しなくてもフローデータを収集できるようになりました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Flow Quality Analyzerでフローレコードの受信に問題が発生する可能性があります。フローレコードの受信に問題が発生した場合の回避策は、フローデータのモニタリングポートを再起動することです。 本問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。 融合するプロセスが同時に実行された際に「Hash checking has failed on unit xxx. Configuration may not be applied to this unit.」というエラーメッセージが表示されます。Flowmon v12.02で修正される予定です。</p>
Ver 12.00.01	2022/4/12	<p><b>重要な情報</b></p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は <b>Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</b></p> <p>以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Open VM Toolsは、HWアプライアンスの更新プロセスを妨げることはなくなりました。</p> <p>30秒または1分のプロファイルに基づくトラフィックチャプターは、プロファイルの粒度通りに反映されない不具合を修正しました。</p> <p>LDAP認証でログインしているユーザが、共有されているダッシュボードを見ることができない不具合を修正しました。</p> <p>プロファイル/チャンネル数が多い場合、及びフローデータの履歴が長いFlowmonのアップデート時間を改善しました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) でのコンフィグレーションステータスのチェックが、バックグラウンドの操作に影響される不具合を修正しました。</p> <p>無効なHTTPS証明書をアップロードする際、失敗した原因について詳細な情報が表示されるようになりました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Flow Quality Analyzerでフローレコードの受信に問題が発生する可能性があります。フローレコードの受信に問題が発生した場合の回避策は、フローデータのモニタリングポートを再起動することです。 本問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM Probeとの互換性はありません。これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe リリースで対処される予定です。</p> <p><b>警告</b></p> <p>長期間使用しているハードディスクの一貫性チェックに関する警告の通知メッセージは表示されなくなりました。</p> <p>ログインページがデフォルトのページになり、ログイン前に各モジュールの選択画面は表示されなくなりました。</p> <p>ダッシュボードのタブの順番は、アップデート中に変更される場合があります。</p>
Ver 12.00.00	2022/3/2	<b>重要な情報</b>

<p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>以下のアップライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro</p> <p>また、アップライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p>
修正された不具合
<p>フローのリストより、電子メールのSTARTTLSフローフィールド値がフローの詳細に正しく表示されるようになりました。</p> <p>Flowmon Packet Investigatorをインストールされていても、Configuration Center&gt; システム設定のsyslogターゲットの操作を妨げなくなりました。</p> <p>DA構成で、ユニット間での不一致が発生した場合の通信不具合を修正しました。</p> <p>Flowmon OSのアップデート後、100GbEのモニタリングインターフェースに関する不具合を修正しました。</p> <p>DA構成で、Configuration Center&gt; FMC設定&gt; リスニングポートにて一度に複数のリスニングポートを作成する場合、構成の不一致が発生しなくなりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) において、アクセス制限を定義しても、設定の不一致が発生しなくなりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) で作成された履歴プロファイルの履歴データがTPMで利用可能になりました。</p> <p>月の初日のアクティブデバイスに関するデータが、GMTからのタイムゾーンオフセットが大きいアップライアンスで利用できるようになりました。</p> <p>プリセットからのチャプターのローカライズに関する問題を修正しました。</p> <p>ユーザクティブティログは、管理者 (admin) だけでなく、すべてのユーザを対象にフィルタリングができるようになりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) にインポートされたユーザと役割を編集する際に、設定の不一致が発生してしまう問題を修正しました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) において、チャンネルのフィルタにスペースが入っている場合、構成の不一致が発生してしまう不具合を修正しました。</p> <p>MSPライセンスを利用している場合、テーマのカスタマイズ用のカスタムロゴは、Flowmon OSアップデート時に削除されてしまう問題を修正しました。</p> <p>RESTAPIガイドでの認証セッション (Authorize) に関する不具合を修正しました。</p> <p>Dashboards and Reportsにて、大量のトラフィックデータがあった場合、時系列グラフが空になってしまうことはなくなりました。</p> <p>RAID コントローラ PERC 750 を搭載したアップライアンスは、アップライアンスログの取得中にフリーズになってしまう不具合を修正しました。</p> <p>ルート証明書と中間証明書を使用したカスタムHTTPS証明書のインポートに関する不具合を修正しました。</p> <p>親プロファイルをフローデータのソースとして使用する必要がある場合、解析の時系列表示が機能できない不具合を修正しました。(現在のプロファイルでフローデータは期限切れになり、親プロファイルで使用可能になります)。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) のプロファイルに正しいソース プロファイル サイズが表示されない不具合を修正しました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) のフロー統計の転送が、データベースインデックスのオーバーフローによって失敗してしまう不具合を修正しました。</p> <p>リソースマネージャにてソースプロファイルのクォータがディスクの使用状況に正しくカウントされるようになりました。</p> <p>プレセットを使用したタッチボードのインストールは、プロファイル名が長い場合でも動作するようになりました。</p> <p>解析にてNATに関する集約を使用する場合、時系列表示でグラフが表示されない不具合を修正しました。</p> <p>フローデータのライブチェックに関する不具合を修正しました。</p> <p>Gold Supportの有効期限切れメッセージの表示に関する不具合を修正しました。</p> <p>Dashboard and Reportsにて時系列グラフのウィジェットでグラフの色とテーブルカラーが正しく一致するようになりました。</p> <p>Flowmon Probe PRO モデルでモニタリングポートを開始できない問題を修正しました。</p> <p>LDAP認証を使用しているユーザに対して、それらの役割を変更される場合、通知されるようになりました。</p> <p>LDAPサーバからユーザに役割を割り当てることはできなくなり、役割の設定はLDAP設定に基づくものになりました。</p> <p>LDAPからのユーザの認証試行は、ローカル認証にフォールバックしなくなりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) でソースプロファイルを作成する際に、マスターユニット上のフローデータに使用可能なスペースが必要となっている不具合を修正しました。</p> <p>役割変更後にUIがフリーズする不具合を修正しました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) でグローバルフローデータのライブチェック設定を適用すると、既存のすべてのフローソースでライブチェックが自動的に有効になるように修正されました。</p> <p>Dashboard and Reportsで、先月のタイムスロットが正しく表示されない不具合を修正しました。</p> <p>IPアドレスの名変更後の解析で、誤った値が表示される不具合を修正しました。</p> <p>解析でのチャネル選択の応答が遅い問題を修正しました。</p>
<p><b>新機能</b></p> <p>大規模なクラウドベースまたはハイブリッドインフラストラクチャでグローバルネットワークの可視性を提供するために、Flowmon Collectorは、クラウドネイティブフローソースである、Google Cloud VPC Flow LogsとAzure NSG Flow Logsからフローデータを受信できるようになりました。</p> <p>これらのソースからのフローは、他のフローと同じように処理し、解析することができます。</p> <p>Flowmon Collectorは、この機能を提供するために、オンプレミスまたはクラウドで展開することができます。</p> <p>Flowmon Collectorは、AWS VPC フローログからのTCPフラグ情報を処理できるようになりました。</p> <p>Flow Quality Analyzer - 受信したフローレコードの品質とFlowmon Collectorでの使い勝手をエキスパートユーザが評価するための新しいコマンドラインツールが導入されました。</p> <p>DAモードにおいて、システムメッセージの通知でoriginating unitの情報を提供できるようになりました。</p> <p>プリセットはConfiguration Centerから削除され、Dashboard and Reportsページ内の設定のみで利用できます。</p> <p>ログインページがデフォルトのページに変更されました。他のページにアクセスする前にログインする必要があります。</p> <p>タッチボードの各ウィジェットの上部に新しい拡大鏡アイコンが追加され、迅速なドリルダウンが可能になります。</p> <p>これにより、解析ページ上のウィジェットと同じように、データの概要を開きます。または対応するFlowmonモジュールにあるウィジェットと同じデータ概要を開きます。</p> <p>Monitoring Centerで定義されたウィジェットの場合、クエリをすぐに実行するか ( [解析] で開いてクエリを実行する )、フィルタの追加修正後などにユーザが手動でクエリを実行できるようになりました。( [解析] で開く )</p> <p>タッチボード上のウィジェットで、テーブルに対して新しいアクションが追加されました。</p> <p>これらのアクションにより、より詳細な解析が可能になり、テーブルに表示された結果 (IPアドレスなど) をクリックボードに簡単にコピーすることができます (テーブルをクリックして、[クリップボードにコピー] を選択します)。</p> <p>または、拡張フィルタを使用して、解析でウィジェットと同じ結果の概要を開きます。( [解析] で開いてフィルタに追加 の選択あり )</p> <p>Dashboard and Reports からPDFにエクスポートされたレポートのレイアウトは、より高い情報価値、読みやすい、新しいビジュアルスタイルを提供することに重点を置いて、ユーザにより多くの情報を提供するように再設計されました。</p> <p>Dashboard and Reportsにおけるチャプター一覧が強化されました。</p> <p>別のFlowmonモジュールで作成されたものも含め、利用可能な全てのチャプターが表示されます。</p> <p>Dashboard and Reportsのチャプター一覧にて、チャプターの編集および削除を実行できるようになりました。</p> <p>編集または削除するチャプターが別のモジュールで作成されている場合は、それぞれのモジュールのチャプター編集ウィンドウにリダイレクトします。</p> <p>各レポートのチャプターの上部に新しい拡大鏡のアイコンが追加されました。</p> <p>タッチボードと同様に、このオプションは高速なドリルダウンを可能にします。</p> <p>解析ページまたは対応するFlowmonモジュールのチャプターと同じように、データの概要を開くことができます。</p> <p>Monitoring centerで定義されたチャプターについては、フローデータクエリをすぐに実行するか ( [解析] で開いてクエリを実行する )、フィルタの追加修正後などにユーザが手動でクエリを実行できるようになりました。( [解析] で開く )</p> <p>トボロジーを変更する際に即座にUIが反応し、その他多くのUIとUXが改善されました。</p> <p>トボロジーウィジェットのリンクの詳細を再設計しました。</p>

<p>すべてのユーザプロフィールに対して十分な権限がない場合でも、そのユーザはトポロジーにアクセスできるようになりました（トポロジマップのデータは、ユーザが持っている権限に従ってのみ利用できます）。</p>
<p>Application Performance Monitoring（APM）のすべてのウィジェットとチャプターがDashboard and Reportsで利用できるようになりました。 バージョン5.0以降のFlowmon APMモジュールに組み込まれたDashboard and Reports機能、APMウィジェットの名前とチャプターの名前、および説明が統合され、改善されました。</p>
<p>複数のバグが修正され、APMチャプターのUIも改善されました。</p>
<p>Configuration Center&gt; バージョン から使用可能なパッケージをインストールする際に、ユーザの承認を得るために、リリースノートが表示されるようになりました。</p>
<p>PHPがバージョン7.4に更新されました。</p>
<p>既知の不具合</p>
<p>Flow Quality Analyzerでフローレコードの受信に問題が発生する可能性があります。 フローレコードの受信に問題が発生した場合の回避策は、フローエクスポーターを再起動することです。 本問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。</p>
<p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM Probeとの互換性はありません。 これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe リリースで対処される予定です。</p>
<p>警告</p>
<p>長期間使用しているハードディスクの一貫性チェックに関する警告の通知メッセージは表示されなくなりました。</p>
<p>ログインページがデフォルトのページになり、ログイン前に各モジュールの選択画面は表示されなくなりました。</p>
<p>ダッシュボードのタブの順番は、アップデート中に変更される場合があります。</p>
<p>プロフィール又はチャンネルの数が多い場合や、フローデータの履歴が長い場合、Flowmonのアップデートが完了するまで 1時間以上かかる場合があります。</p>